

基準緩和認定実例(実証)

○全体概要

実証事業者	東広島市Autono-MaaS推進コンソーシアム
実証期間	2021年3月15日～8月31日
実証実験の概要	東広島市、広島大学、株式会社イズミ及びMONET Technologies株式会社等、12の組織で構成する東広島市Autono-MaaS推進コンソーシアム(共同事業体)が、広島大学構内にて自動運転の実証実験を行うもの。本年9月以降に公道走行も検討中。

○実証の概要

走行場所	広島県東広島市 広島大学構内(広島県東広島市鏡山1-3-2)	
走行環境条件	走行空間	限定空間/ 自動車専用空間 / 交通環境整備空間 / 混在空間(生活道路)
	交通環境	直進のみ/ 右折あり / 左折あり ・信号あり/ 信号なし
	走行時間帯	10:00-16:30(休憩・13:30-14:30)
	天候	悪天候時は手動運転にて走行を行う
	実証時最高速度	19Km/h
インフラとの連携の内容	なし	
車両内外の保安要員の有無	有り / 無し	
保安要員有りの場合、配置場所	前席右側	

<走行空間の写真等>



○車両の基礎情報

ベース車両	POLARIS GEM E6
システムの類型	特別装置自動車 / 遠隔システム搭載車 /その他()
最高速度	19km/h
定員	6名
立席・着席	着席

<車両の外観写真等>



○主な基準緩和項目と代替の安全確保策とその考え方

保安基準第10条 操縦装置 保安基準第11条第1項 かじ取り装置	手動運転時にはT字型コントローラによりハンドル操作を行う。運転操作はMay Mobility社の社員、またはMay Mobility社により訓練を受けたドライバーのみが行う。
---	---

<緩和対象箇所の写真等>



○基準に適合させるために実施した改造事例

- ・操縦装置の表示変更
 従来の車両の仕様としては、ウインカーやヘッドライト等の操作ボタンの表記が英語による文字表記であったところ、日本の保安基準に適合させるため、ピクトグラム表記に変更した。
- ・窓ガラスのフィルム変更
 従来の車両の仕様としては、前面ガラス上部に日よけのフィルムが貼り付けられているところ、日本の保安基準に適合させるため、一部をカットした。
- ・ホイールカバーの拡張
 従来の車両の仕様としては、タイヤが車体部分からはみ出しているところ、日本の保安基準に適合させるため、車体部分に部品を取り付けることにより、はみ出ないようにした。

<改造箇所の写真>

・操縦装置の表示変更

・窓ガラスのフィルム変更

・ホイールカバーの拡張



○ヒヤリ・ハット事例(発生内容、原因、対策等)

ヒヤリ・ハットの事例なし

<ヒヤリ・ハット状況の写真や図など>